

事業計画書

事業名	農園部-男の居場所づくり事業
1. 事業の目的	シニア世代、特に男性は家に引きこもりがちであり、これらの方が外に（地域に）出るきっかけとなる居場所を作り、アクティブシニアとして地域活動に参加してもらう道筋を作る事業となることを目的とします。
2. 事業で取り組みたい地域や社会の課題	<p>日高市武蔵台団地は約 2200 戸の郊外住宅団地です。高齢化率は 50%となり、現役リタイヤー人口もこの状況に比例して増加しています。</p> <p>リタイヤーした人たち、特に男性は家に引きこもりがちであり、これらの方が外に（地域に）出るきっかけとなる居場所を作り、活力あるアクティブシニアとして地域活動に参加してもらう仕組み作りが喫緊の課題です。</p>
3. 具体的な事業内容	<p>○農園活動 地域周辺に畑を作り、農園活動を展開する。 令和 3 年 4 月に約 400 坪の休耕地を借用した。 農園活動参加者は、特定非営利活動法人げんきネット武蔵台の会員であれば、だれでも活動に参加できる。 農園は共同農園、子ども農園、個人菜園の趣味農園に区画する。それぞれの農園活動は、基本的なガイドラインを定め、事業目的を意識した活動を展開する。</p> <p>○地域との連携活動 共同農園の作業は、毎週の定例作業日を決めて、だれでも参加できるようにする。 共同農園の収穫野菜は、げんきネット会員希望者に無料配布し、それでも余剰がある時は、ショッピングセンター内で即売をし、地域住民との交流機会を創る。 子ども農園は、地域の子どもたちと一緒に収穫作業をし、収穫物を使った食事会イベントの企画実施を通して、子どもと大人の触れ合いの機会を作る。</p>

<p>4. 具体的な事業の実施計画</p>	<p>1) 事業スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ R3 年 7 月～11 月 耕作地の除草、施肥、各農園区の保守整備作業 各種作物の育成、収穫 収穫物を使った食事会、即売会などのイベント実施 ・ R3 年 12 月～R4 年 2 月 畑の土づくり、除草、剪定、春野菜の植付け準備 野菜作りの勉強会 地域交流活動の企画、評価、促進活動実施 <p>2) 広報活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農園部活動情報を全戸に発信 2 か月ごとに発行のげんきネット武蔵台ニュースレターの中に「農園部便り」コーナーを作り、活動状況を逐次は発信する。 ・ 自治会掲示板を活用し、収穫野菜の即売や食事会を開催発信 住民の中にショッピングセンターに出かける楽しみを創り出す。
<p>5. 事業の実施体制</p>	<p>総括責任者 : 柳沢弘二 企画指導責任者 : 塚原一実 広報連絡責任者 : 水谷悦夫 経理担当者 : 上田昭二</p>
<p>6. 来年度以降どのように事業を継続し発展させていくか</p>	<p>農園部活動情報を常時発信することにより、畑作業に興味を持つ人を増加させる。 農園部員の増加は会員会費の増加に直結。また、収穫野菜の販売や、関連イベントで収益増を図る。</p> <p>今年度の活動で事業ベースが固まりましたら、さらに農園部活動とげんきネットの他の事業と連携を図った企画を立案し実施に移します。 活動経費は、げんきネット全体会計の中で対処します。</p>
<p>7. 今回の事業が他の団体、行政等が実施する同種の事業と比べて優れていること</p>	<p>まちの活性化活動を進めるうえで、アクティブシニアが活動に参画する体制づくりは欠かせません。 男の居場所づくりはそのような体制づくりに繋がっていく重要な仕組みと考えます。 尚、男の居場所・・・と言っておりますが、勿論女性の参画も大歓迎です。</p>